

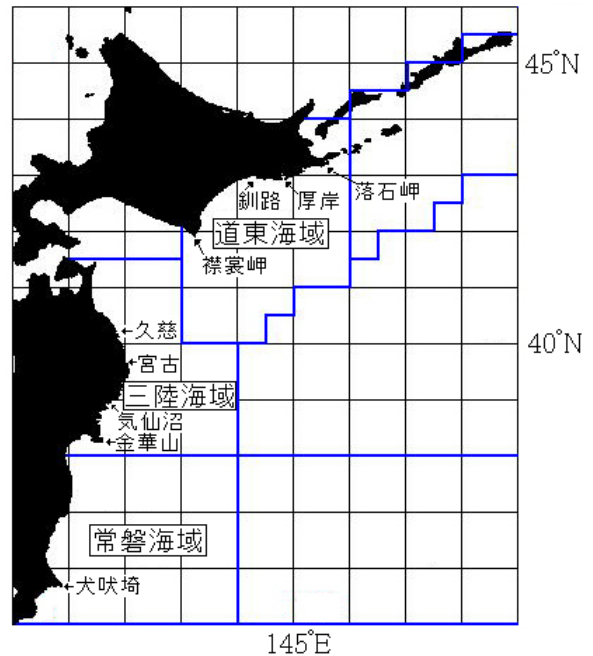
## 平成27年度 第5回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2015年10月下旬～12月上旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月下旬は低位水準であり、11月上旬に終漁となる。
- ・三陸海域では、10月下旬は来遊量が増加して中位水準となるが、沖合を南下する魚群が多く、11月上旬から来遊量は減少する。
- ・常磐海域では、11月上旬になると来遊があり、11月中旬は中位水準となる。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部  
担当：渡邊、松尾  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

国立研究開発法人水産総合研究センター  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成27年度 第5回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2015年10月下旬から12月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は減少し、10月下旬は低位水準で推移する。11月上旬は、散発的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

道東海域では、10月下旬は、落石南沖～厚岸沖と襟裳岬沖で漁場が持続する。11月上旬は、襟裳岬沖に散発的に漁場が残る。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、10月下旬は中位水準となる。沖合を南下する魚群が多く、11月上旬から来遊量は減少し、11月上旬は中位水準であるが、11月中旬～下旬は低位水準となる。12月上旬は、断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

10月下旬～11月上旬は三陸北部～南部が、11月中旬～12月上旬は三陸南部が漁場となる。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

11月上旬になると、低位水準ではあるが来遊がある。来遊量は増加し、11月中旬は中位水準となる。11月下旬は中位水準であるが来遊量は減少し、12月上旬は低位水準となる。

#### (2) 漁場

11月上旬は、常磐北部が漁場となる。11月中旬～12月上旬は、常磐北部～南部が漁場となる。

## 2. 予測の概要

海 域		10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位減少	断続的			
	漁 場	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	襟裳岬沖			
三陸海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位減少	低位減少	低位減少	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向		低位増加	中位増加	中位減少	低位減少
	漁 場		北部	北部～南部	北部～南部	北部～南部

### 3. 漁況の経過概要（10月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬を上回ったが、前年を下回る低位水準であった。道東海域よりも東～東南東側の花咲港東～東南東沖における来遊量の水準は、前旬を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域は、期半ばにかけて来遊量が増加したが、期後半は減少した。また花咲港より東～東南東側における来遊量は、期後半に増加した。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石沖が漁場となった。落石南～南東沖の15～25海里付近（13～15℃）では、小型船数隻～40隻程度操業。5日夜は大型船2隻も操業。小型船で10～20トン、大型船は4～35トン漁獲した。

また道東海域よりも南側の落石南150～180海里付近（12～14℃）では、9日夜に大型船が2隻操業し、28～38トン漁獲した。

主漁場は、道東海域よりも東～東南東側の花咲港東～東南東沖（11～12℃）の花咲港まで半日～1日程度かかる場所で、多くの船が操業した。

##### (3) 魚体

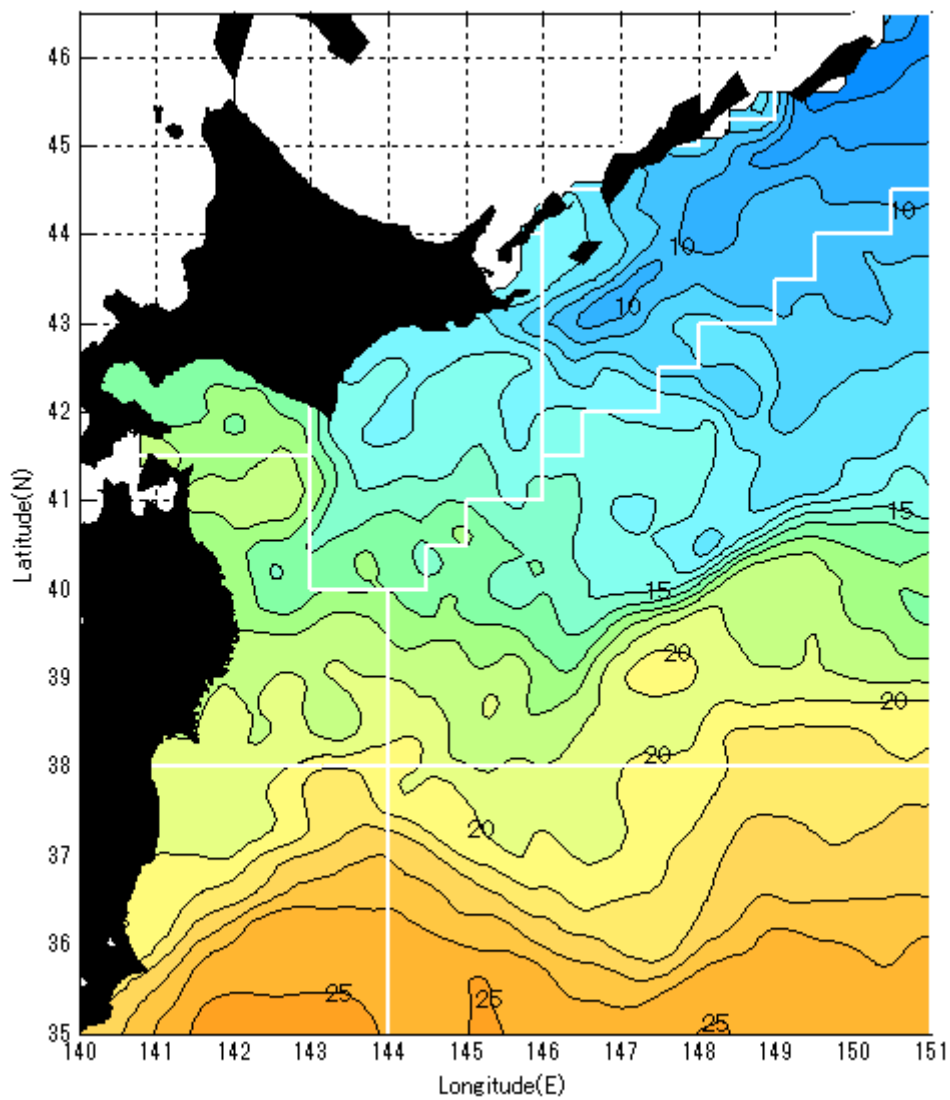
道東海域では、体長25～26cmモードの中型魚主体で、体長29cm以上の大型魚は1～2割程度であった。

道東海域よりも東～東南東側の、花咲港東～東南東沖では、体長30cmモードの大型魚主体で、中型以下の魚が1割前後混じった。大型魚の体重は130～140g台が主体であった。

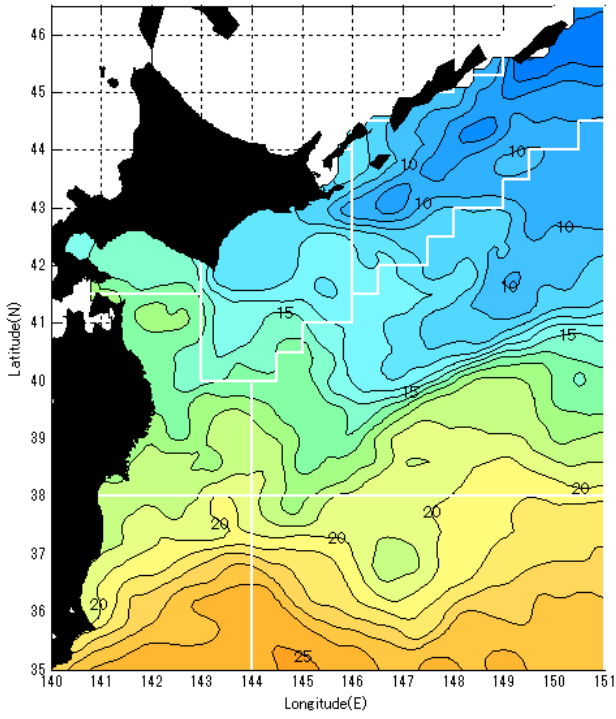
道東海域よりも南側の落石南150～180海里付近では、29～30cmモードの大型魚主体で、中型以下の魚が1割前後混じった。

#### 4. 予測水温分布図

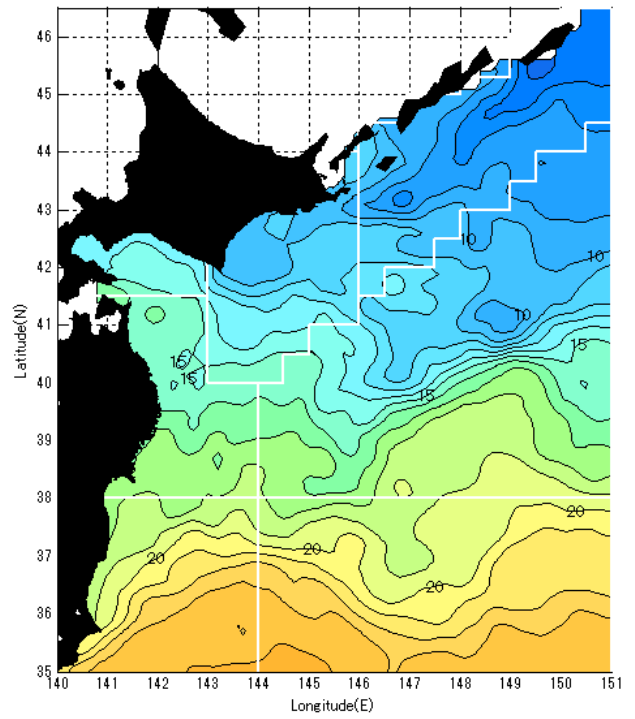
10月下旬予測表面水温分布図



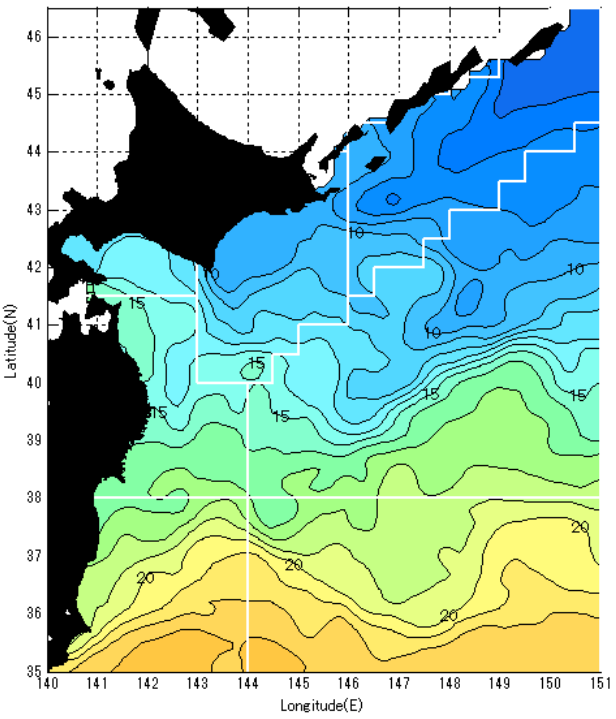
11月上旬予測表面水温分布図



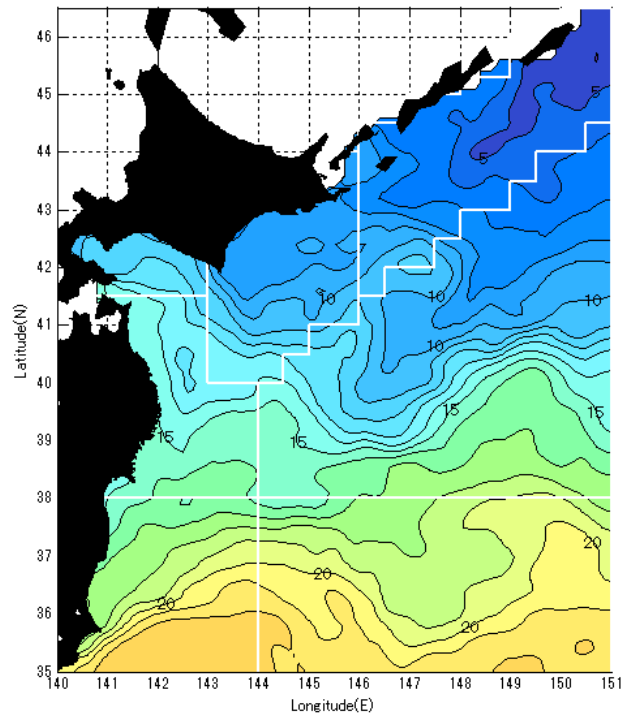
11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	---